

# 浸水から街を守る『いろは呑龍トンネル』

## いろは呑龍新聞第 21 号～平成 29 年 8 月号～



「いろは呑龍トンネル南幹線」が北幹線と接続するまで残り 400m!



「いろは呑龍トンネル南幹線」が北幹線と接続するまでの延長が、8月10日で残り400mになりました！（全長4,069m）

掘進延長表示

（現場内（8月10日））



発進立坑周辺の温度

（温度：36度、湿度：低）



熱中症対策

（パラソルと冷風機）



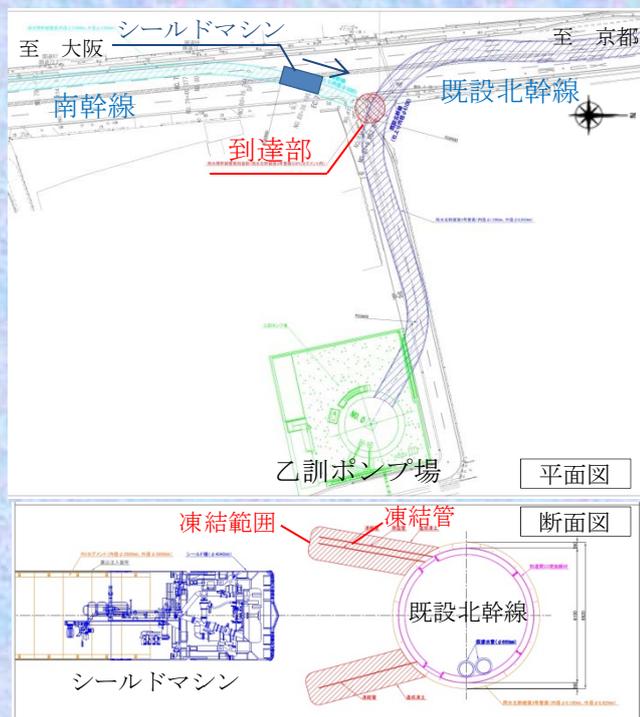
「いろは呑龍トンネル南幹線」は平成28年2月に洛西浄化センター内の発進立坑から掘進を進めてきましたが、北幹線との接続まで残り400mになりました。今年の7月の京都市内の最高気温の平均温度は33.4度となっており、発進立坑周辺も同様に昼間は36度（トンネル内は34度）となっていることから、熱中症対策にも力を入れて進めています。

「いろは呑龍トンネル」南幹線が北幹線と接続するための準備を行っています。

### 地盤凍結工法

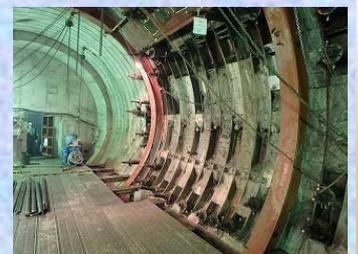
地盤凍結工法とは、地下水の流入を防ぎ、かつ強固な地盤を造成するため、人工的に凍らせて固める工法です。

いろは呑龍トンネルの敷設位置は、地下約20mと深く、地下水の多いところなので、接続部の施工において、この地盤凍結工法を用い、地上（国道171号）付近への影響も無く、安全に施工することができます。



凍結工法準備

（セグメント補強）



凍結工法準備

（機材搬入）



# <工事の進捗状況>

いろは呑龍トンネル南幹線が北幹線との接続まで残り400m!

## 【雨水南幹線計画図】

- 雨水南幹線 (未施工)
- 雨水南幹線 (施工済)

○雨水南幹線の概要  
 掘削延長：4,069m  
 内径：3.5m  
 土被り（深さ）：約20m  
 掘進速度 初期 約6m/日  
           本掘進 約13m/日  
           到達 約5m/日  
 工期：平成27年3月25日～  
       平成31年3月25日



○雨水南幹線の掘進状況  
 (平成29年8月10日現在)  
**3,672m / 全長4,069m**  
**【 90% 】**

発進立坑内 (坑口) の状況



泥水処理プラント (全景)



トンネル内部の状況



発進立坑 (京都府洛西浄化センター内)

